

★見た目にはわかりにくい、伝わりにくい障害は様々です。どのようなものがあるでしょうか。

ここではその一部を紹介します。

名称	説明・代表的な疾患	
聴覚障害	聴覚機構の障害で聞こえの機能が低下している状態	
身体障害（内部障害）	呼吸器機能障害 慢性閉塞性肺疾患 （肺気腫、慢性気管支炎など） 拘束障害をきたす疾患 （肺結核、肺繊維症、サイコイドーシス、ポリオなど） 慢性呼吸不全	
	心臓機能障害 不整脈 虚血性心疾患 （狭心症、心筋梗塞、心筋症、弁膜症、先天性心疾患、心不全など）	
	腎臓機能障害 様々な疾患があり例を挙げるのは難しいが、透析を受けている方等が対象	
	膀胱又は直腸の機能障害 ①尿管ストマを必要とする疾患  二分脊椎、膀胱がん、子宮がんなど ②腸管ストマを必要とする疾患  大腸がん、腸閉塞（イレウス）、クローン病 潰瘍性大腸炎、腸結核	
		小腸機能障害 上腸管膜血管閉塞症、外傷、先天性小腸閉鎖症
	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害（HIV）	
	肝臓機能障害	肝炎、肝硬変

名称	説明・代表的な疾患など
高次脳障害	交通事故や頭部のけが、脳卒中などにより、脳が部分的に損傷を受けたため、言語や記憶などの機能に障害が起きた状態
統合失調症	思考や行動、感情を統合する能力が長期間にわたって低下し、その経過中に幻覚、妄想、ひどくまとまりのない行動などが見られる状態
てんかん	様々な成因によってもたらされる慢性の脳疾患 大脳ニューロンの過剰な放電から由来する反復性の発作（てんかん発作）を特徴とする
発達障害	学習障害（LD） 基本的に全般的な知的発達に遅れはないが、聞く・話す・読む・書く・計算する・推論するなどの特定の能力の習得と使用に著しい困難を示す
	注意欠陥多動性障害（ADHD） 多動性、注意力散漫、衝動性を主な特徴とする
	広汎性発達障害（PDD） 【自閉症・アスペルガー症候群など】 社会性の獲得やコミュニケーション能力の獲得など、人間の基本的な機能の発達遅滞を特徴とする
	発達性強調運動障害（DCD） 協調的運動がぎこちない、全身運動や微細運動がとて不器用など、日常動作や学業に支障をきたす状態

